

**創造・喜び・実感産業**

**未来をつくる 建設業の使命と誇り**



**「能登半島地震」資材支援を実施**

1月1日に発生した能登半島地震。長野県建設業協会は、国土交通省北陸地方整備局との災害時支援協定に基づき、いち早く被災地支援を実施しました。5日午後、各支部から集まった資材や飲料水を長野市の本部に集約。同午後4時30分に金沢河川国道事務所に向けて送り出しました。当支部からはブルーシート96枚、セーフティコーン331個を提供しました。



**建設機械クイズ**



**Q1.** この車は何を運ぶ車でしょう？  
 A. 雪 B. 土 C. 水  
 道路に雪が積もったとき、車が走れるように素早く雪をかきことができます。



**Q2.** この車はこれから何をします？  
 A. 土を運ぶ B. 物を運ぶ C. 交身する  
 工事に必要な機械や材料(物)を載せて工事をしている場所まで運びます。



**Q3.** この機械は何ができるでしょう？  
 A. 物を壊す B. 物を掘る C. 土を掘る  
 先端の「バケット」と呼ばれるもので土を掘ったり、すくったりします。バケット部分を交換することで、物を掘んだり建物を壊すこともできます。

**「建設業図鑑」を発行**

小学生向けのリーフレット「建設業図鑑」を発刊しました。未来を担う子どもたちに建設業の仕事を知ってもらいたいという思いで企画し、広報部会のメンバーが中心となって制作したものです。上小地区の小学5・6年生を対象に順次配布予定です。建設業の大切さ、仕事としての楽しさや面白さが少しでも伝われば嬉しいです。

**目次**

- 支部活動報告① ..... 2~3  
安全・安心イベント2023
- 支部活動報告② 育成事業 ..... 4~7  
高校生現場見学会ほか
- 女性部会 ..... 8~9  
～女性の視点で見つめる職場～
- 支部活動報告③ ..... 10~11  
意見交換会・懇談会
- 支部活動報告④ ..... 12~13  
パトロール・防疫演習
- 上小支部の仲間たち ..... 14~15
- 異業種からの転職インタビュー ..... 16  
／編集後記

# 安全・安心イベント2023

交流通じて建設業を身近に



## 生コン車を動かそう



おそろおそろ生コン車を操作する子どもたち。  
ドラムから出した水風船が成果品。



## 小型バックホー試乗体験



オペレーターと一緒にバックホーに乗車。  
ミッションがクリアできたら記念撮影。



## 高所作業車体験



高所作業車は毎回大人気

9月6日、「上田道と川の駅おとぎの里」で開催された「安全・安心イベント2023」に上田建設事務所、上田市防災支援協会と共に参加しました。当支部は、高所作業車などの試乗体験のほか、生コン車とドローンの操作体験を実施。そのほか新たな試みとして千桜会が中心となり、会員企業のタオルで「くま」を作るワークショップを行いました。

## タオルで「くま」を作ろう



たくさんの親子が参加

## ドローン操作体験



Asisol.LLC(アジソル)共催

ドローン操作する感覚を体感。  
青空に何度もドローンが飛び立ちました。

イベントには、国土交通省千曲川河川事務所、長野国道事務所、自衛隊、県警上田警察署、上田地域広域消防本部なども参加。今回は4年ぶりにコロナ禍前の規模に戻ったこともあり、会場には多くの家族連れが訪れました。来場者はスタンプラリーで各ブースを回りながら災害体験をしたり、防災に関する知識を深めながらイベントを楽しんでいました。

当日は快晴に恵まれ大勢の方にお越し頂き、ありがとうございました。  
高所作業車体験や建設機械試乗は、普段なかなか経験することのできないもので、大人から小さいお子さんまで皆さん笑顔で乗車され、大きな歓声上がるほどでした。今回のイベントを通じて、地域の安全や防災についてみんなで考えるきっかけになることを願います。

## 高校生現場見学会

上田千曲高校1・2・3年生が現場見学



千曲市の新光電気工業(3年生)



現場では重機にも試乗(3年生)

上田千曲高校の建築科の生徒を対象に5月25日と10月26日、11月9日に現場見学会を開催しました。建設業への理解を深めてもらい、入職を促進する取り組みとして上田建設事務所と協力して行っているものです。

5月の見学会では、3年生37人が千曲市と上田市の建築現場を見学。千曲市の新光電気工業千曲工場新築工事の現場では、責任者から工事概要や施工手順について説明を受けました。生徒は「大規模な現場で大勢の人をまとめて安全

管理に努めている現場管理者はとてもかっこいい。この経験を今後の進路の参考にしたい」と話していました。

10月の見学会では、2年生34人が須坂市と小布施町で進む「まちづくり」の現場を見学。須坂長野IC周辺地区開発の現場では、須坂市の担当職員から開発計画の説明を受け、生徒は供用開始前の新設道路を歩きながら施工業者が路面標示工を行う様子に見入っていました。



松本市の体育館改修工事(1年生)



須坂市の新設道路(2年生)

11月の見学会では、1年生36人が松本市の松本平広域公園を訪れ、体育館の改修工事を見学しました。生徒たちは2班にわかれて屋上やメインアリーナ、現場事務所などを見学。生徒から「改修工事で耐用年数はどれだけ延びるか」との質問もあがり、担当者の説明を聞きながら改修工事について理解を深めました。

インター須坂産業団地の現場では、広大な区画整理が完了した道路のライン敷きの光景を、生徒の皆さんが目を見ながら見ていました。「次は建物の建設中に見学に来たい」という声もあがり、建設業の魅力が伝わる機会になりました。

## インターンシップ

高校生が地元企業で就業体験

7月25日から8月21日の間、会員企業など9社の協力を得てインターンシップを開催し、上田千曲高校建築科の1・2年生19人が参加しました。協力したのは、会員企業の栗木組、宮下組、千曲建設工業、青木建設工業、柳屋建設、竹花工業田中支店、窪田建設、春原建設の8社と、上小共生コンです。

宮下組では、7月28日に生徒5人が参加。あいさつの重要性など社会人としての心構えについてレクチャーを受けたほか、現場で測量作業などを体験しました。



コンクリート打設に挑戦



測量を体験



現場で説明を受ける



建築中の家屋の内部



住宅設計にチャレンジ

普段は立ち入ることのできない施工現場で、生徒の皆さんの学ぶ姿勢が印象的でした。工事現場の説明だけでなく、仕事のやりがい、業界が抱える課題や現状を伝えたり、生徒さんからも「こんな会社に入りたい」という生の声を聞くことができたので、とても有意義な時間となりました。業界の魅力伝えることで、地元建設企業への就職に繋がればと思います。

## 職場体験学習

中学生が建設業の仕事を学ぶ

育成事業の新たな取り組みとして、今年度から中学生を対象とした職場体験学習を開始しました。7月6日から21日の間、会員企業6社が協力し、上田第二・第三・第四・第五中学校と北御牧中学校から生徒19人が参加しました。

実施後のアンケートでは、「大変で厳しい仕事と思っていたが、職場の皆さんが優しく印象が

変わった」という声や、「建設業は『技術者』と『技能者』に分かれていることを知った。技術者は工事の計画を立てたり全体を見て考える仕事をしていて、一番心に残った」「普段何気なく使っているところでも、色々な工夫がされているのだと感じられた」などの声がありました。

## 高校企業説明会

生徒の不安や疑問に答えながらPR

12月12日、上田千曲高校建築科の1年生と2年生を対象とした企業説明会を開催し、当支部から6社が参加しました。

今回の企業説明会で重視したのは、自社のPRを通して生徒の不安や疑問を解消すること。生徒に対して行った事前アンケートで「建設企業に就職するうえで知りたいこと」の項目では「月収や年収、ボーナスなどの目安」の回答が最多。「勤務日数、有給休暇数、残業」、「業務内容」、「高卒、専門学校卒、大卒の比較」が続きました。



羽田組



栗木組



千曲建設工業



宮下組

アンケート結果を踏まえ、参加した企業は3会場6ブースに分かれ、高卒時の初任給や年間休日数、施工管理の業務内容などを説明したほか、有給休暇の取得率や、給与や業務面における高卒・大卒の比較、資格取得制度などを説明し、生徒の疑問や不安解消に努めました。

小河原嘉彦雇用福祉・労務部会長は、「能力給を採用している会社は数多くある。高校を卒業して地元の建設企業に就職してほしい。資格を取得することで待遇は良いものになる」と生徒に話しました。



柳屋建設



竹花工業

今回の企業説明会を通じて、多くの高校生と直接交流できたことは非常に有意義でした。生徒さんの好奇心と関心を引くことができ、企業に対する理解を深めてもらう良い機会となりました。今回の経験をもとに、より効果的なコミュニケーション手法を模索していきたいと思っております。

## 連携協定調印式

人材育成を持続するため三者で協力

12月5日、当支部と上田千曲高校、上田建設事務所は『建設業人材育成にかかる包括的連携協定』を締結し、「専門的・実践的な学びにより、建設業界を支える有為な人材の育成を目指す」ことを明文化しました。協定の期間は3月31日までですが、期間満了の前月までにいずれかから申し出がない限り、1年ごとに更新となります。

現在、三者での取り組みは活発で、これまで

も現場見学会やインターンなどの取り組みを実施してきました。その一方で、「その時の担当者の熱量により連携が弱まり、進路実現のための取り組みが中断する不安があった」（伊藤卓也先生）ことから、学校側の声掛けもあって今回の協定締結が実現しました。今後協定に疑義が生じた場合は、三者が集まり「協議のうえ解決」することになります。



今年度実施した見学会の現場は、北信・中信エリアにも及びます。毎年開催している企業説明会も、企業側が一方向的に説明するのではなく、数年前から生徒の不安や疑問を解消する場に変更。就職後をイメージできるようコミュニケーション重視の内容にするなど、連携を強みに改善を続けてきました。

今回の締結を受け、佐藤支部長は「育成した人材が地元の建設企業に就職してくれるよう、三者で真剣に考えていきたい」と話し、上田建設事務所中島俊一所長は「学校と業界とをうまくマッチングさせて、良い交流ができれば」と期待を語りました。

将来を担う若者が、建設業界での活躍をイメージできるよう取り組みを展開していきたいと思っております。引き続き、現場見学会やインターンシップ、企業説明会などを通じて高校生との距離を縮め、お互いへの理解を深めて行くことが出来れば私たちもうれしいです。

## 教材提供

上田千曲高生に検定練習用木材を贈呈

建築大工の技能検定を受験する上田千曲高校の生徒に練習用木材35組分を提供しました。生徒の受験を応援するため平成30年度から行っているもので、毎年合格者も多数出ているとのこと。学校で学んだ技術を、地元の建設企業で発揮してくれることを期待しています。



## 女性の視点で見つめる職場 ～建設業界の魅力向上を目指して～

コロナ禍も落ち着き、大きなイベントが開催できた1年でした。多くの方々と触れ合う場面も増えてきたので、視野を広げていき、女性に限らず建設業界に携わる誰もが働きやすい環境を目指して活動していきます。

### 女性の視点から気づくこと ～千桜会懇談会～

「建設業における女性の働き方の可能性」をテーマに懇談会を開催しました。昨年を引き続きお越しいただいた長野県議会議員の清水純子さんと、上田建設事務所の中島所長にも出席いただきたくさんの意見が集まりました。



まわりに建設業界に  
従事している友人・知人が  
いないので、このような  
懇談会はとても  
貴重な場所です。

話し合いが  
進むにつれて緊張が解け、  
本音の討論ができました。

### 楽しみながら安全や防災を学ぶ ～安全・安心イベント～

楽しみながら安全や防災について、見て学ぶイベント。高所作業車に乗ったり、小型クレーンやドローンを操作できる体験場もありお子さん達に大人気！千桜会では、親子で楽しんでもらえるように例年配っていたタオルを使ったクマちゃん作りに挑戦！子ども達はできあがったクマちゃんを嬉しそうに持ち帰りました。

“ものづくり”の  
楽しさを子どもたちと  
感じられるすてきな  
時間でした！

千桜会の私たちは  
うまく教えられるか  
ドキドキ…

## 良いとこどりでもっと安全にもっと快適に ～年末パトロール～

労働災害を未然に防ぐことを目的とするパトロールも千桜会の目線は少し違います。「現場衛生パトロール」現場の安全だけでなく働く女性たちの衛生環境のチェックもパトロールの重要な目的です。今後の建設業界は女性も活躍出来る職場になると期待が持てるパトロールでした。



報告会は是正事項も大切ですが  
他社の良い所が気になります。  
採用できそうなものは  
すぐに取り入れます。



### 千桜会員募集中

女性が働きやすく、働き続けられる職場環境を整備するために千桜(さくら)会は活動しています。技術者、営業担当者、事務職の女性の皆さん、一緒に参加しませんか？ 上下地区の建設業界で働く女性を応援しています！

### 体をほぐしてリフレッシュ ～ヨガ体験～

前回、大好評だったヨガ体験PART2！普段使わない筋肉をほぐし、自律神経を整える効果があるヨガで、心も体もリフレッシュ！



全身を刺激しながら  
大自然の中にあるような  
気分になり癒されました。

### 香りで気分を上げる ～オリジナルアロマ作り～

講師の先生が用意してくださった60種類以上のアロマから6～8種類を自分で選び調合し、世界で一つの自分だけのアロマが作れました！



アロマの効能に  
関しても相談しつつ、  
自分好みの香りが  
作れました！

### 女子会のお弁当日記

今回のお弁当は「CREPERIE AN」さん。おかずクレープと生クリームたっぷりの甘いクレープをいただきました。



支部長から差し入れの  
ドーナツもあった日！  
会議の日だったので、  
甘いものが嬉しい♡

### 千桜会広報委員会



Member  
会長：石塚 夕起【榑宮下組】 副会長：伊東 由香【東部開発組】  
会員：金井 彩香【榑創恒】 金井のぞみ【榑創恒】  
塚本 優【榑羽田組】

## 実務者による意見交換会

現状や課題を発注者と共有



参加者は4班に分かれ意見を交わした



当支部代人部会（中島哲雄部会長）は6月16日、上田建設事務所および県土木施工管理技士会上小支部と共催で、実務者による意見交換会を実施。テーマは「災害時の緊急対応」「公共工事の品質確保」「働き方改革」「建設業の担い手確保・育成」など多岐にわたり、受発注者間の相互理解を深めました。

上田建設事務所の坪田浩昭整備課長は「建設業における働き方が問われるなか、現場で感じる『改善できる』『合理化できる』ことについて意見が交わされ、若手技術者の確保・定着にもつながる時間にしたい」と話しました。

災害時の緊急対応については「工事量が多すぎて間に合わない」「作業員の安全確保のために夕方には通行止めの指示を」などの要望がある一方で、「受発注者間でタイムリーな情報交換ができれば現場が円滑に回る」「GPSを活用することで安全確保も可能では」などの提案も。働き方改革については、「週休2日が浸透してきている」「年度末の忙しさが緩和された」など改善された現状が報告される一方で、「除雪が回らなくなり、道路の安全が確保されなくなるのでは」といった課題も共有されました。

## 県現地機関との意見交換会

災害対応評価などについて要望

7月25日、県の現地機関との意見交換会を市内の会場で開催。入札制度や設計、女性の雇用促進など26議題について意見を交わしました。

支部からは、災害復旧に従事した技術者が総合評価落札方式で加点なしで応札となる状況を説明し「地域の災害復旧に対応・従事した業者が不利にならないよう施策を」と要求。これに上田建設事務所は「地域の災害復旧等に対応・従事した企業に不利益が生じないよう、配慮を行っているところ」と回答しました。さらに支部から「災害復旧にあたった企業の9割が点数なしで頑張った。そういった業者を救うべき」「点数がつかないなら災害復旧はやらないとなってしまう」などの声が挙がりました。



様々な事を本音で話し合える有意義な会になりました。業界をより良くしていくためには受発注者間で意見交換をして、その内容を制度に反映していくことが大切だと思います。現地機関からも「地元建設業界は今後も続いていかなくてはならないもの」と発言がありました。取り巻く環境は厳しいですが、今後も受発注者両輪となり業界が発展していければと思います。

## 高校との意見交換会

学校からのフィードバックを今後



佐藤支部長



中島所長



大工原校長

12月5日、上田千曲高校と建設技術実践プログラムや実習支援、入職促進などについて意見を交わしました。支部から14人、同校から8人、県上田建設事務所から2人が出席しました。

高校からは、現場見学会について「生徒のなかには『あの会社に行きたい』と話す子もいる。見学会の刺激は効果的」との共有があったほか、インターンシップについては「最大のハードルは移動手段。自転車でいける範囲に限られてしまうため、企業に送迎をお願いすること

もある」といった課題も提示されました。

企業説明会については、支部から「各社のアピールよりも、業界の魅力を中心に話すべきか」と質問し、同校は「会社の魅力を通して建設業のカッコよさを伝えてほしい」と答えました。さらに支部からは「保護者の影響が強く、生徒が建設業に抵抗感を持っているのではないか」と懸念する声も上がり、「見学会や企業説明会などに、保護者の参加も可能にしてはどうか」といった提案が出されました。



## ハローワークとの懇談会

求職者へのアプローチ法を探る

1月23日、上田公共職業安定所（ハローワーク）との懇談会を初開催しました。初めに公共職業安定所から現状等の説明を受けた後、質疑応答を行いました。

支部会員に対して行った事前アンケートでは、ハローワークに対し「窓口相談業務者の建設業に対する知識やイメージ」を問う声が多く、ヒアリングや情報交換の場を希望する意見があったほか、「入職希望者の多い業種と建設業とで異なる条件があれば知りたい」「地域格差もあるように思う。不利な条件を克服するには何が必要か」といった質問もありました。



懇談会を初開催

## 自主パトロール

年末に備えパトロール方針も確認



改築事業が進む上田第五中学校



終了後は各現場の状況を共有

10月16日、自主パトロールと報告会を開催しました。年末工事現場安全パトロールを前に自主的に実施したもので、安全部会や会員企業の女性社員も含めた12人が参加し、4班に分かれて管内の現場を巡回しました。終了後は今後のパトロール方針についても話し合い、巡回時間や事前告知の内容、是正点の基準の統一化などについて意見を交わしました。

パトロール参加者からは「大きな現場ほど整理整頓・区画整理等がきちんと整備されていて、安全意識が高いいつも勉強させられます」との感想がありました。パトロールでの指摘事項を全員で共有して、無事故無災害へ繋げる努力を続けていくことが重要なのだと思います。

## 年末工事現場安全パトロール

冬期特有の労働災害を防ぐ



掲示物を確認



現場を細かくチェック



報告会

12月4日、年末工事現場安全パトロールを実施しました。参加者は土木6班、建築2班に分かれて各現場に向かい、現場代理人から工事概要や進捗状況、作業計画について説明を受け、本格的な冬を前に労働災害に繋がる危険箇所がないか細かくチェックしました。パトロール後の報告会には77人が参加し、監督署からの指摘事項や改善点、好事例などを共有しました。

現場や現場事務所の作業状況を細かくチェックしながらパトロールを行いました。前回の報告会で指摘された事項がすでに改善されている現場が多く、各社の安全意識の高さを感じました。衛生面でも女性社員が動きやすい環境づくりに力を入れている企業が多く、労働環境の改善が安全な職場を作っているのだと実感出来ました。

## 特定家畜伝染病防疫演習

初期対応やフローを確認

12月20日、上小地域特定家畜伝染病防疫対策連絡会議と協力し、特定家畜伝染病に対する防疫埋却演習を実施しました。この演習は、鳥インフルエンザや豚熱の発生を想定し、殺処分家畜埋却などの初動対応を迅速かつ円滑に行うことを目的としたもので、上小地域では初の開催となりました。上田地域振興局農地整備課、佐久家畜保健衛生所、上田農業農村支援センター各位にご指導いただきました。

佐藤支部長は「万が一が起きた時、慣れない作業でまごつかないように、演習を通して学んでほしい」と参加者に呼びかけました。



参加者に呼びかける佐藤支部長

## 演習の様子



19社から34名が参加



防護服の着用方法について



目隠しフェンスの設置



重機を使った埋却の演習



上空からの演習風景



防護服の脱衣方法について

演習後の講評で、佐久家畜保健衛生所の矢彦沢小百合所長は「埋却作業で感染しないためにも防護服の脱衣は慎重に」と呼び掛け、防護服着用による作業効率の低下について「動きづらい、視界が狭いなどの要因で労働災害が生じるのは本末転倒。大きな支障が生じるようであれば適宜対応する」と話していました。

家畜伝染病の発生時には、建設業は重要な役割を果たします。緊急を要する現場では、迅速かつ効果的な対応が求められるため、私たちは演習を通じて防護措置を訓練し、いざという時のために備えていきたいと思っております。

# 長野県建設業協会

# 上小支部の仲間たち

令和6年2月現在

**建設業 青木建設工業株式会社**  
クレーンゼロの仕事に心掛けています。  
代表取締役社長 青木 友和  
上田市上丸子1706  
TEL.0268-42-3127 FAX.0268-42-3708

"地球修理工の感動産業"  
建設・環境・人材育成事業を通じて地域の発展を願い  
地域と行政の橋渡しをする……  
**春原建設株式会社**  
代表取締役社長 春原文 浩  
長野県上田市住吉1-7  
"困ったら"…まずは電話!!  
TEL.0268-22-7018 FAX.0268-27-4094

特定建設業  
**有限会社 岩下組**  
代表取締役 岩下 通孝  
小県郡青木村大字村松1721  
TEL.0268-49-2023 FAX.0268-49-2774

**千曲建設工業株式会社**  
上田市諏訪形973-1  
TEL. 0268-22-3835  
E-mail : info@chikumakk.co.jp  
https://www.chikumakk.co.jp

法令を遵守し施工致します  
**株式会社 金井組**  
代表取締役 北田 雄一  
小県郡長和町大門119  
TEL.0268-68-2137(代) FAX.0268-68-2677

確かな技術・誠意ある施工  
地域からさらに信頼される会社を目指して!!  
**東部開発株式会社**  
代表取締役社長 柳沢 昌美  
〒389-0506 長野県東御市称津1304  
TEL.0268-62-0480 FAX.0268-64-3848  
E-mail : info@tobu-kaihatsu.jp

自然に囲まれたこの環境を私達の手で大切に守りたい。  
後世に残る品質と信頼を目指して…  
**北澤土建株式会社**  
本社 長野県上田市武石沖471-1  
TEL.0268-85-2039(代) FAX.0268-85-3394  
URL: https://www.kitazawadoken.co.jp  
E-mail: master@kitazawadoken.co.jp  
東御支店 TEL.0268-62-1674

**HATA 株式会社 羽田組**  
代表取締役社長 佐藤 公明  
小県郡長和町和田1540-1  
TEL.0268-88-2012  
FAX.0268-88-2774

アイデアをかたちにし、新しい時代の住宅を自社開発。  
いつでも居心地のいい時間、空間の家を提供します。  
緑創 家 族  
【創業 昭和27年】  
**窪田建設株式会社**  
〒386-1213 長野県上田市古安曾1116  
TEL: 0268-38-3050 MAIL: kubota@n-h-n.com  
YouTubeでお客様へ家づくりを発信!  
チャンネル登録者2.5万人以上!  
総再生数450万回以上!  
話題の動画も自社で運営しています! 窪田 秀徳

大正3年創業  
誠意と信用と技術で地域社会に貢献する  
**株式会社 宮 嘉 組**  
代表取締役社長 宮島 聖二  
上田市蒼久保1416-1  
TEL.0268-35-0032(代) FAX.0268-35-0086

**株式会社 倉島組**  
代表取締役 倉島 卓司  
上田市上丸子1385  
TEL 0268-75-7078 FAX.0268-75-7079

未来を建てる。それが私たちの使命です。  
**株式会社 宮 下 組**  
代表取締役社長 石塚 博敏  
〒386-0017 長野県上田市踏入二丁目1番17号  
TEL.0268-22-0271(代) FAX.0268-25-6123

「常に誠実であれ!」をモットーに  
「技術」と「品質」で地域の明日を創造します。  
**株式会社 栗木組**  
代表取締役社長 栗木 悦郎  
上市長瀬3918  
TEL.0268-34-7666 FAX.0268-35-3433

地域を支える基幹産業  
安全・安心な未来へ  
**JOSHO**

明治15年創業  
**柳屋建設株式会社**  
代表取締役 小河原 嘉彦  
上田市中央 2-13-17 TEL.0268-24-3220

**株式会社 堀内建設**  
周辺環境に配慮した土木工事を提供します  
技術力と信頼で地域へ貢献します  
代表取締役 金森 潤哉  
上田市真田町傍陽2918-1  
TEL.0268-75-8468 FAX.0268-75-8469

**株式会社 創 恒**  
代表取締役 金井 利亀  
上田市古安曾1593-1  
TEL.0268-39-2888 FAX.0268-39-2889

**竹花工業株式会社** 田中支店  
取締役副社長 田中支店長 山浦 友二  
東御市 518  
TEL.0268-62-0144 FAX.0268-62-1119

**株式会社 小山産業**  
代表取締役 小山 俊夫  
小県郡長和町和田1485番地1  
TEL 0268-88-2045  
FAX 0268-88-2035

"地域に根差し、地域と共に歩む。お客様の笑顔と信頼を得る"  
ことを大切にしています。  
**株式会社 小 幡**  
代表取締役 小幡 晃大  
上田市材木町1丁目9-15  
https://www.obt.co.jp  
TEL.0268-28-1877 FAX.0268-22-8590

**三共テック株式会社**  
代表取締役社長 須江 啓一  
〒386-0002 上田市住吉370-1  
TEL.0268-23-1842 FAX.0268-27-0909  
[URL]http://www.3-kyou.co.jp/3-kyoutec/

建設業  
**池田株式会社** TEL.0268-72-2251  
FAX.0268-72-2245  
上田市真田町長7166-2  
代表取締役 池田 豊文  
元祖やきとり 備長炭焼  
**千串屋**  
TEL.0268-71-0357 FAX.0268-71-0358

信頼と技術と真心でお応えする住み良い街づくりのパートナー  
**山真建設株式会社**  
代表取締役 山岸 信幸  
長野県上田市芳田2114-7  
TEL:0268-35-3651  
FAX:0268-35-3688  
URL:https://yamashin-c.jp/  
E\_mail:info@yamashin-c.jp

豊かな郷土づくりに貢献する  
**木島建設株式会社**  
土木・建築・造園・設計施工  
〒386-2201 上田市真田町長6116-1  
TEL.0268-72-2267 FAX.0268-72-4160

**株式会社 関 南**  
代表取締役 大森 一馬  
上田市住吉331-3  
TEL.0268-25-0706 FAX.0268-25-0707  
[URL]https://www.tonamil073.net

MATSUI 技術・品質・サービスを地域の皆様へ!!  
**株式会社 松井建設**  
代表取締役 松井 智哉  
長野県上田市武石小沢根215-1  
TEL.0268-85-2709 FAX.0268-85-2409







小林弘典さん 春原建設株式会社/入社5年  
「休日はほとんど息子と野球をしています。新しい趣味も模索中」

### ○介護の現場から建設業へ

春原建設が介護事業を展開している関係で縁があり入社しました。用語なども知らないゼロからのスタートだったので、最初は少し苦労しました。現在は現場監督の仕事をしています。

### ○実際に働いてみて

入社前は「大変そう」というイメージがありましたが、働いてみるとそれ以上にやりがいの方が大きいです。介護もやりがいのある仕事ですが、建設業では自分が手掛けた仕事が目に見えた形で残るので、そこが一番の違いですね。印象に残っている現場は、東日本台風の災害復旧で携わった真田町の角間川です。思うようにいかないことが多く苦労しました。最近完成した長野大学前の舗装はスムーズに、見た目も綺麗にできたと思います。人間関係では、一見怖そうに見えて根は優しい人が多いですね(笑)。

### ○今後について

土木は奥が深く、日々経験し学んでいます。今はまだ先輩に手伝ってもらう部分もあるので、ゆくゆくは一つの現場を最初から最後まで、すべて担当できる技術者になるのが目標です。



山崎雅司さん 株式会社栗木組/入社2年  
「休日はアウトドアやゴルフ、家でBBQをすることも多いです」

### ○金融機関から建設業へ

東日本台風災害の復興工事の状況を前の職場で見ていたので、社会貢献度の高い業種だと思っていました。「建設業」＝「職人・ものづくりをする人たち」というイメージがありましたが、工事工程の管理業務を主とする会社があることを、業界に入って初めて知りました。現在は管理部で法律改正に応じた社内ルールづくりや電子契約に関する業務を手掛けています。

### ○実際に働いてみて

ものづくりは素晴らしいですね。何も無い荒地に道路が開き、店舗や工場が建つ。それまでにいろいろな苦労があるのですが、そういった面も分かって改めて建設業の醍醐味を知りました。栗木組は非常に風通しの良い社風で、若い社員も多いため活気があります。野球チームもあり、私は4時起きで早起き野球に参加しています。

### ○今後について

現場の事はまだわからないことが多いので、しっかりと経験していきたいです。今までは通勤族だったため、今後は地域活動にも参加して公私ともに充実させていきたいと思っています。



はじめに、令和6年能登半島地震により被災されたすべての皆様に心よりお悔み、お見舞いを申し上げます。現在被災地では復興作業が続いています。建設業が行う災害復旧工事がどのようなものか気になる方は、災害特集を載せた本誌29号から31号が当支部のHPサイトにございますので是非読んでいただきたいと思います。どのような場所でどんな工事が行われていたか分かる内容となっています。

上小地区にも被害が起きた台風19号災害から時間が経過し、インフラ復興も完了しました。元通りになった街で過ごしていると災害が遠い昔のことに感じてきます。しかし、今回の地震で災害はいつ発生するのか分からないと痛感しました。改めて備えと防災意識を持ち続けることが大切だと思いました。

